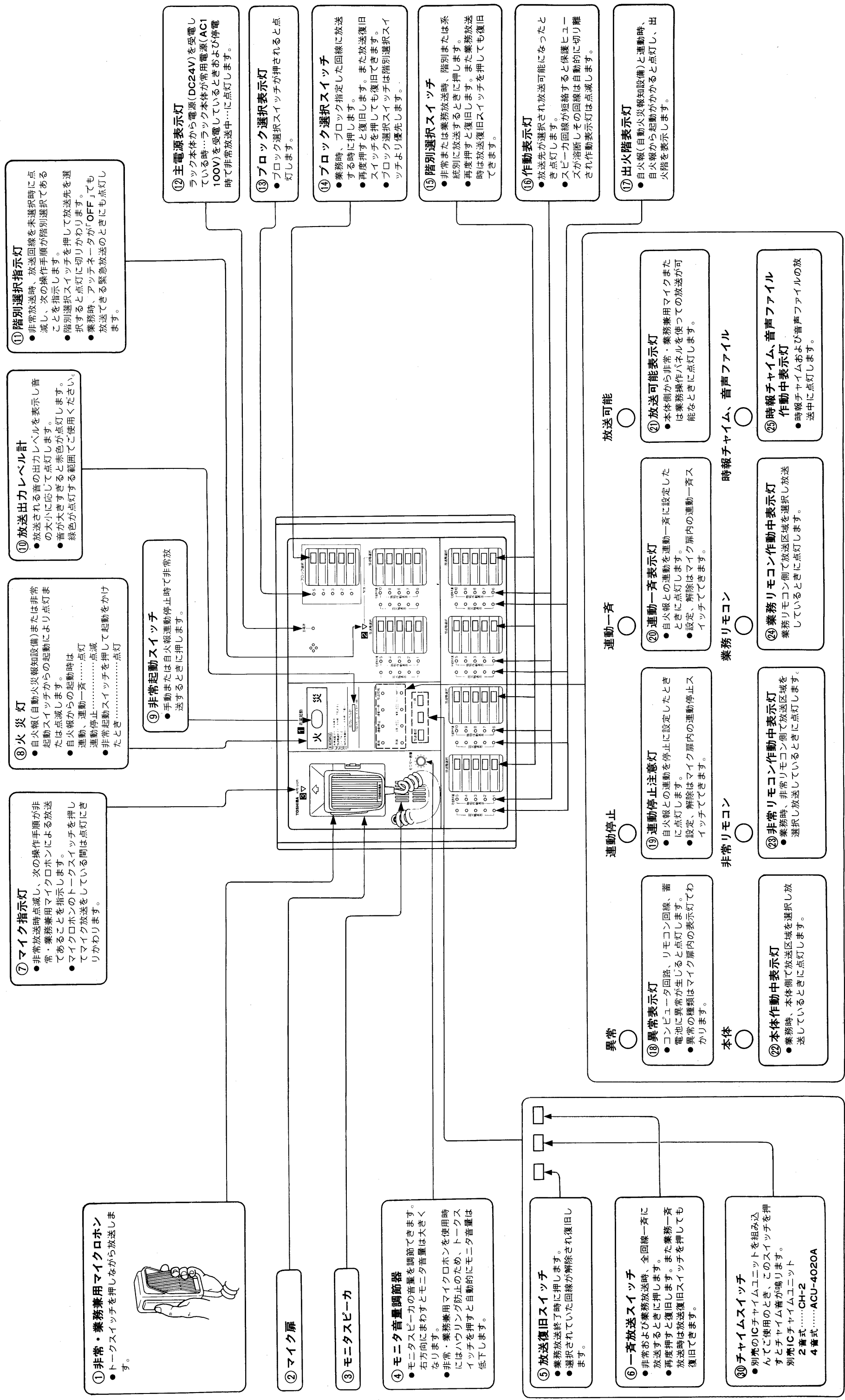


各部の操作のしかた



⑦ マイク指示灯

- 非常放送時点滅し、次の操作手順が非常・業務兼用マイクホンによる放送であることを指示します。
- マイクホンのトークススイッチを押し、マイク放送をしている間は点灯に切りかわります。

⑧ 火災灯

- 自火報(自動火災報知設備)または非常起動スイッチからの起動により点灯または点滅します。
- 自火報からの起動時は点滅、運動一斉……点灯、運動停止……点滅、非常起動スイッチを押し、起動をかけたとき……点灯

⑩ 放送出力レベル計

- 放送される音の出力レベルを表示し音の大小に応じた点灯します。
- 音が大きすぎると赤色が点灯し、緑色が点灯する範囲でご利用ください。

⑪ 階別選択指示灯

- 非常放送時、放送回路を未選択時に点滅し、次の操作手順が階別選択であることを指示します。
- 階別選択スイッチを押し、放送先を選択すると点灯に切りかわります。
- 業務時、アタックネータが「OFF」でも放送できる緊急放送のときにも点灯します。

⑨ 非常起動スイッチ

- 手動または自火報運動停止時で非常放送するときに押しします。

⑫ 主電源表示灯

- ラック本体から電源(DC24V)を受電している時……ラック本体が常用電源(AC100V)を受電しているときおよび非常時に非常放送中に……に点灯します。

⑬ ブロック選択表示灯

- ブロック選択スイッチが押されると点灯します。

⑭ ブロック選択スイッチ

- 業務時、ブロック指定した回路に放送する時に押しします。
- 再度押しすると復旧します。また放送復旧スイッチを押ししても復旧できません。
- ブロック選択スイッチは階別選択スイッチより優先します。

⑮ 階別選択スイッチ

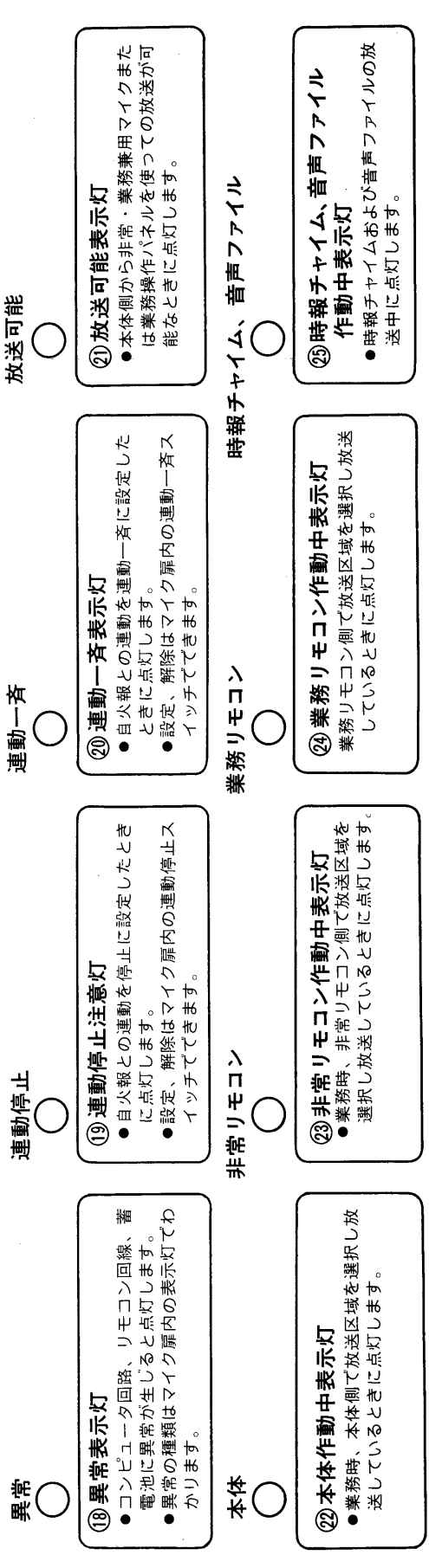
- 非常または業務放送時、階別または系統別に放送するときに押しします。
- 再度押しすると復旧します。また業務放送時は放送復旧スイッチを押ししても復旧できません。

⑯ 作動表示灯

- 放送先が選択され放送可能になったとき点灯します。
- スピーカ回路が短絡すると保護ヒューズが溶断しその回路は自動的に切り離され作動表示灯は点滅します。

⑰ 出火階表示灯

- 自火報(自動火災報知設備)と運動時、自火報から起動がかかると点灯し、出火階を表示します。



異常

⑲ 異常表示灯

- コンピュータ回路、リモコン回線、蓄電池に異常が生じると点灯します。
- 異常の種類はマイク扉内の表示灯でわかります。

本体

⑲ 本体作動中表示灯

- 業務時、本体側で放送区域を選択しているときに点灯します。

運動停止

⑲ 運動停止注意灯

- 自火報との運動を停止に設定したときに点灯します。
- 設定、解除はマイク扉内の運動停止スイッチでできます。

非常リモコン

⑲ 非常リモコン作動中表示灯

- 業務時、非常リモコン側で放送区域を選択し放送しているときに点灯します。

運動一斉

⑲ 運動一斉表示灯

- 自火報との運動を運動一斉に設定したときに点灯します。
- 設定、解除はマイク扉内の運動一斉スイッチでできます。

業務リモコン

⑲ 業務リモコン作動中表示灯

- 業務リモコン側で放送区域を選択し放送しているときに点灯します。

放送可能

⑲ 放送可能表示灯

- 本体側から非常・業務兼用マイクまたは業務操作パネルを用いた放送が可能になるときに点灯します。

時報チャイム、音声ファイアイル

⑲ 時報チャイム、音声ファイアイル作動中表示灯

- 時報チャイムおよび音声ファイアイルの放送中に点灯します。

① 非常・業務兼用マイクホン

- トークススイッチを押しながら放送します。

② マイク扉

③ モニタスピーカ

④ モニタ音量調節器

- モニタスピーカの音量を調節できます。右方向にまわすとモニタ音量は大きくなります。
- 非常・業務兼用マイクホンを使用時にはハウリング防止のため、トークススイッチを押しすると自動的にモニタ音量は低下します。

⑤ 放送復旧スイッチ

- 業務放送終了時に押しします。
- 選択されていた回路が解除され復旧します。

⑥ 一斉放送スイッチ

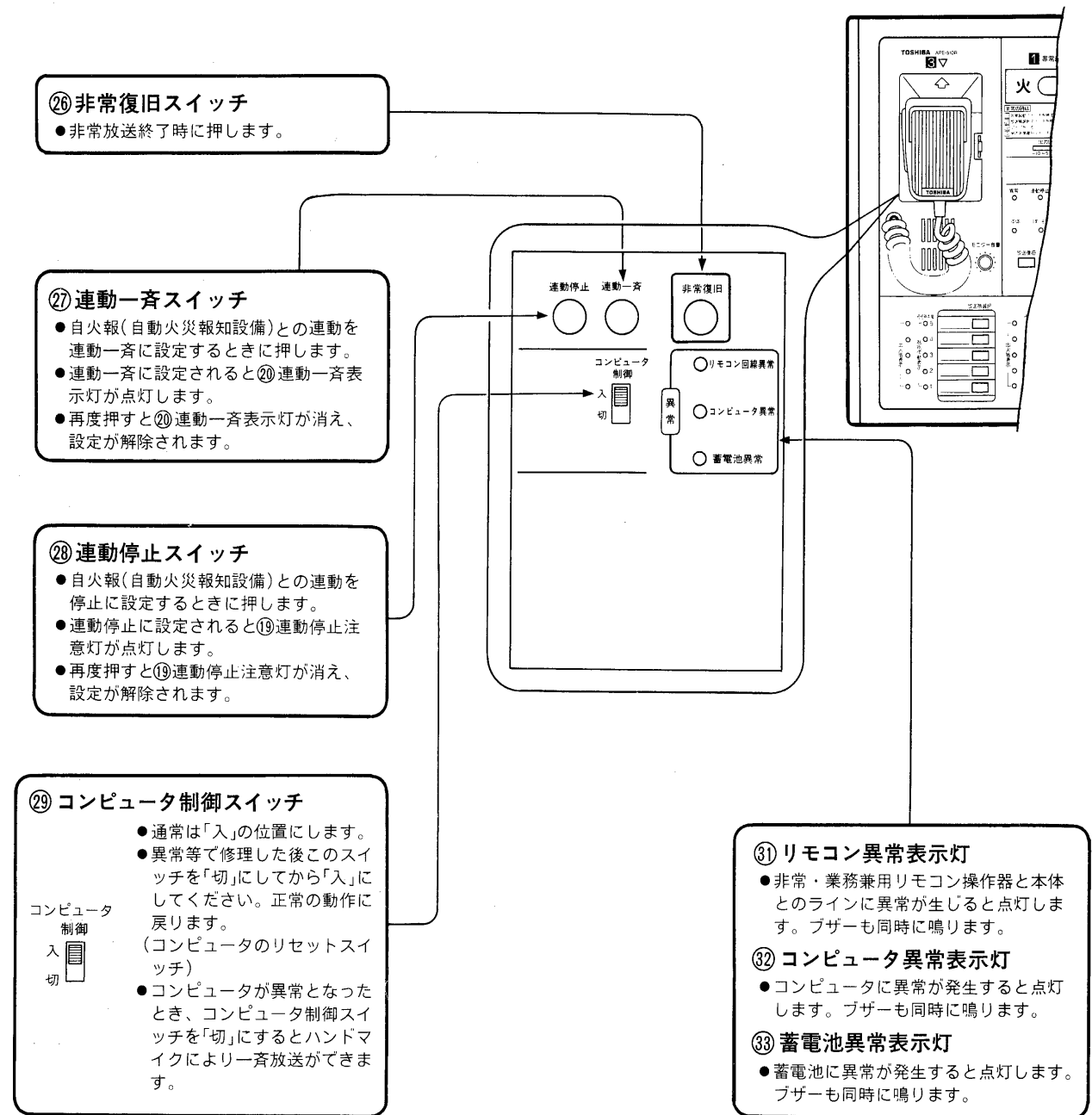
- 非常および業務放送時、全回路一斉に放送するときに押しします。
- 再度押しすると復旧します。また業務一斉放送時は放送復旧スイッチを押ししても復旧できません。

⑳ チャイムスイッチ

- 別売のICチャイムユニットを組み込んでご利用のとき、このスイッチを押すとチャイム音が鳴ります。
- 別売ICチャイムユニット
2 番式……CH-2
4 番式……ACU-4020A

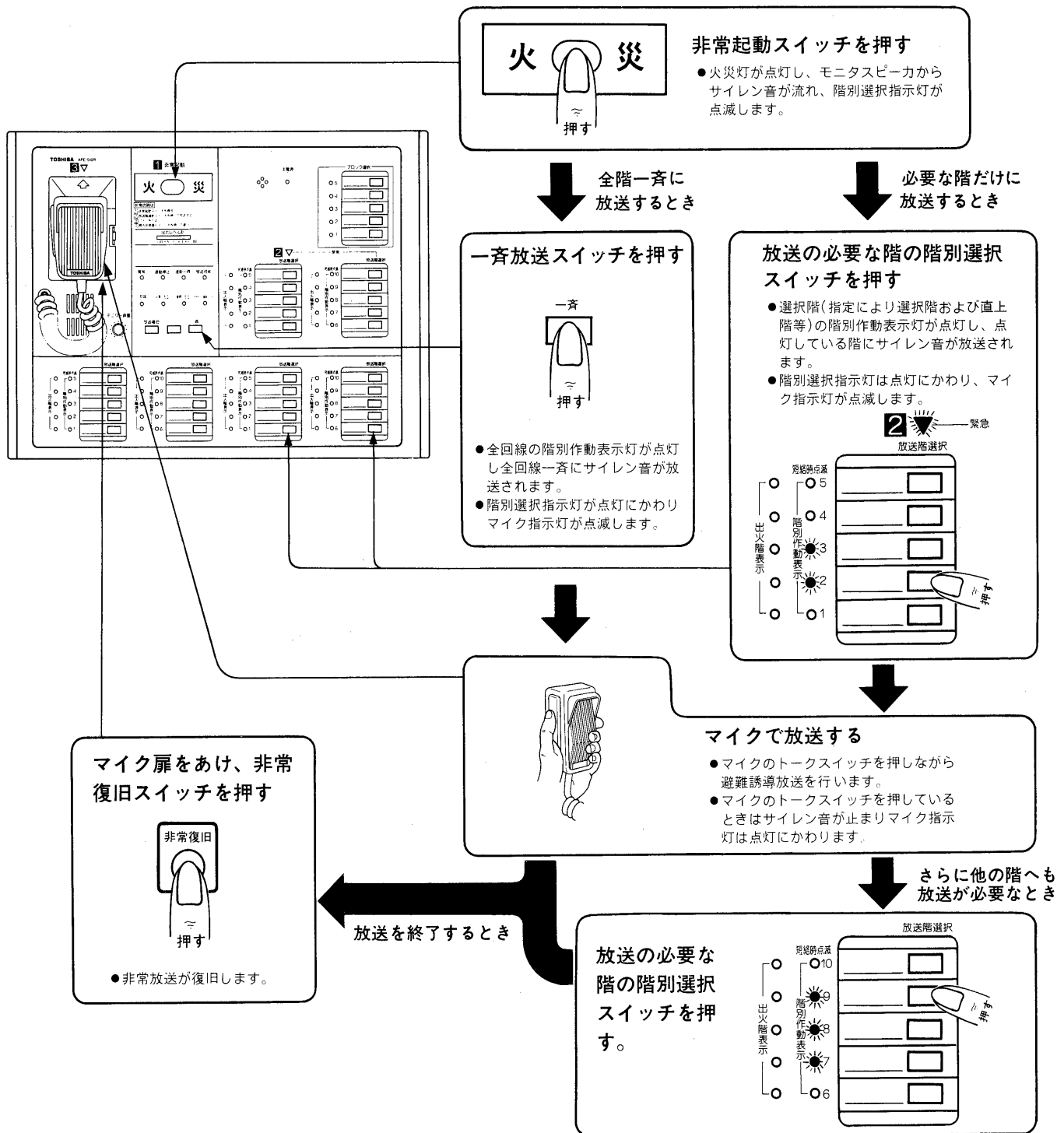
お客様はお読みになったあとにも必ず保存してください。

マイク扉内



非常放送のしかた

手動……手動により非常放送を行うとき



TOSHIBA

連動……自火報と連動して出火階、直上階に
サイレン音が放送されたとき

(自火報連動一斉表示灯、連動停止注意灯の
いずれも点灯していないとき)

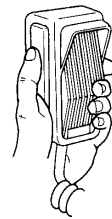
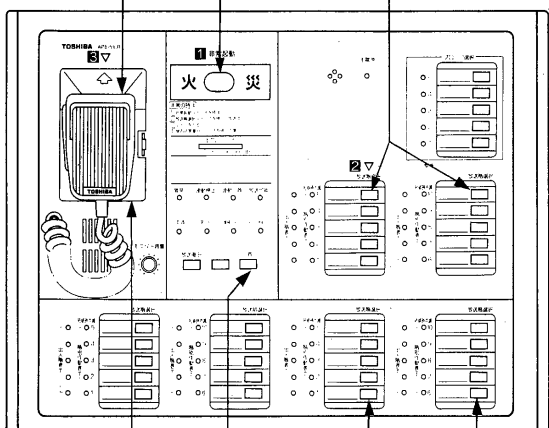
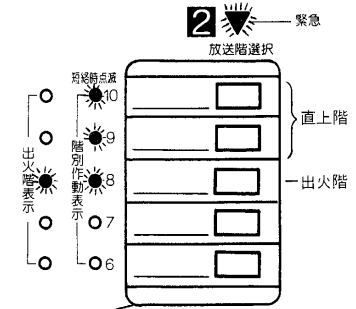
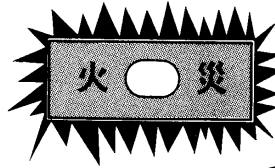


火災発生

自火報が発報

火災灯が点灯し出火階
直上階にサイレン音が
放送されます

- 出火階表示灯、階別動作表示灯が点灯します。
- 階別選択指示灯が点灯、マイク指示灯が点滅します。



マイクで放送する

- マイクのトークスイッチを押しながら避難誘導放送を行います。
- マイクのトークスイッチを押しているときはサイレン音が止まり、マイク指示灯は点灯にかわります。

全館一斉に
放送するとき

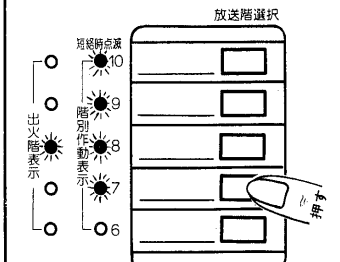
他の階への
放送が必要なとき

一斉放送スイッチを押
してマイクで放送する



- 全回線の階別動作表示灯が点灯します。
- 全館一斉にサイレン音およびマイク放送が流れます。

必要な階の階別選択スイッチ
を押してマイクで放送する



- 選択階(指定により選択階および直上階)の階別動作表示灯が点灯し、点灯している階にサイレン音およびマイク放送が流れます。

マイク扉をあけ非常復旧
スイッチを押す

- 非常放送が復旧します。



自火報を復旧させる

- 自火報を復旧しないで非常復旧させると再び起動がかかります。

連動一斉……自火報と連動して全館一斉に
サイレン音が放送されたとき
(自火報連動一斉表示灯が点灯しているとき)



火災発生

自火報が発報

火災灯が点灯し全館一斉にサイレン音が放送されます。

- 出火階表示灯、全回線の階別動作表示灯が点灯します。
- 階別選択指示灯が点灯、マイク指示灯が点滅します。

緊急
放送階選択
出火階表示
階別動作表示
出火階
すべての動作表示灯が点灯

マイクで放送する

- マイクのトークスイッチを押しながら避難誘導放送を行います。
- マイクのトークスイッチを押し続けているときはサイレン音が止まりマイク指示灯は点灯にかわります。

放送を終了するとき

自火報を復旧させる

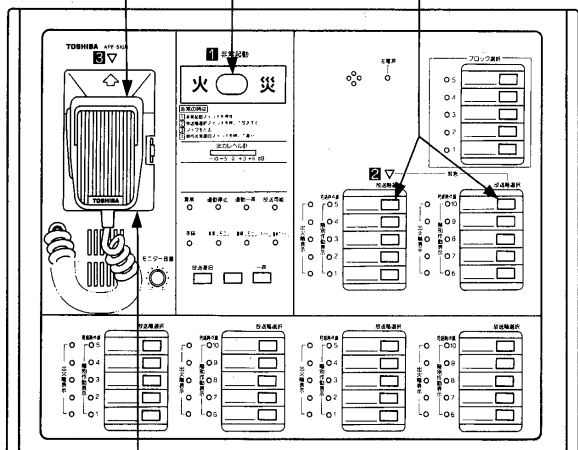
- 自火報を復旧しないで非常復旧させると再び起動がかかります。

非常復旧

マイク扉をあけ非常復旧スイッチを押す

- 非常放送が復旧します。

押す



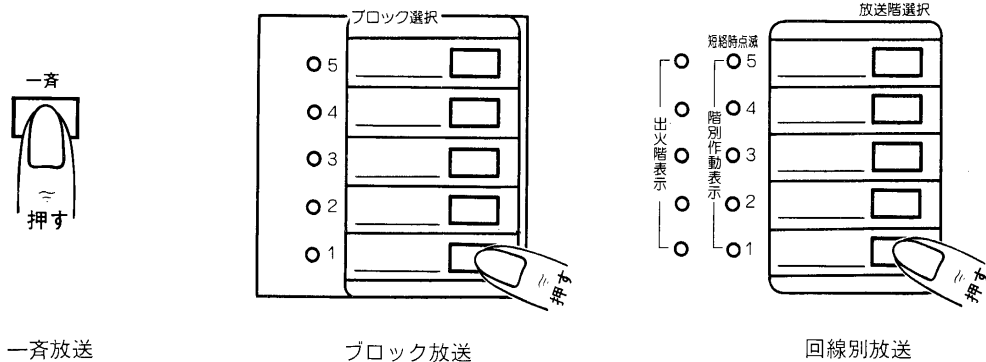
業務放送のしかた

非常・業務兼用マイクロホン①を使ったマイク放送

① 放送したい場所を選択します

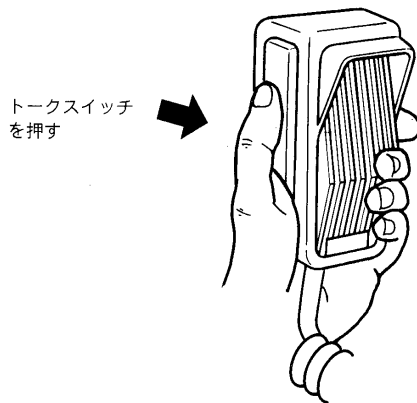
- 全回線一斉に放送したい場合は一斉放送スイッチ⑥を押します。
- 特定のブロックに放送したい場合はブロック選択スイッチ⑭を押します。
- 回線別に放送したい場合は階別選択スイッチ⑮を押します。

➡ 選択された回線の作動表示灯⑯が点灯し、
放送可能表示灯⑳および非常リモコン作動中表示灯㉑が点灯します。
ラック本体の電力増幅器の電源が入ります。



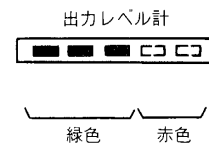
② 非常・業務兼用マイクロホン①を使って放送します

- マイクロホンをはずし、トークスイッチを押しながら放送します。



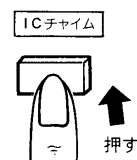
〔適切な音量で放送するために〕

- 放送出力レベル計⑩が放送出力に応じて点灯します。
連続して赤色が点灯しないように、緑色が点灯する範囲に音量を調節します。



〔チャイムユニット(別売)を組み込んでご使用の場合〕

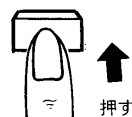
- チャイムスイッチ㉒を押すとチャイム音が選択された回線に放送されます。
放送前の予告音として使用できます。



③放送が終了したら放送復旧スイッチ⑤を押します

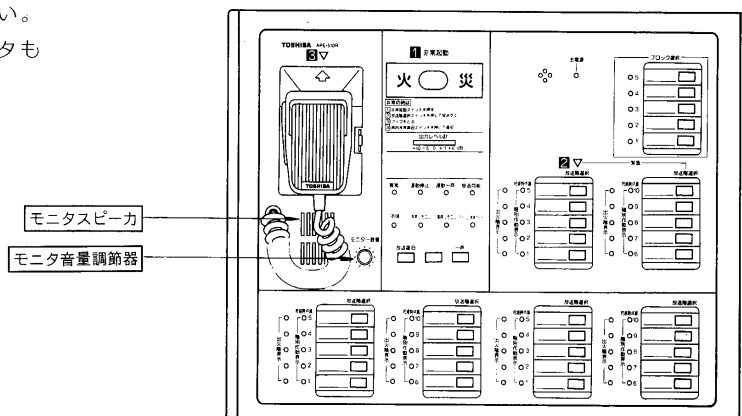
- 一斉放送時は再度一斉放送スイッチ⑥を押しても復旧できません。
- ブロック放送時は再度ブロックスイッチ⑭を押しても復旧できません。
- 回線別放送時は再度階別選択スイッチ⑮を押しても復旧できません。

放送復旧



放送内容をモニタするには

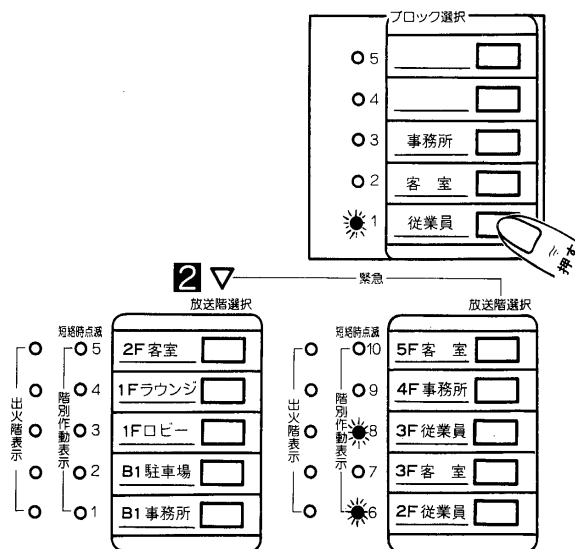
- 本機にはモニタスピーカを内蔵しています。モニタ音量調節器④で適切な音量に調節してご使用ください。また放送出力レベル計⑩で放送出力レベルのモニタもできます。合わせてご使用ください。



業務ブロック放送とそのしかたについて

- ブロック放送はブロック選択スイッチ⑭により行います。
- ブロック選択スイッチへは、たとえば図のように従業員回線がいくつかある場合、それらを1ヶのブロック選択スイッチで放送できるように記憶させます。

（ブロック選択スイッチへの記憶はラック本体側で行います。ラック本体に付属の“書き込みのしかた”をご参照ください。）



〔放送のしかた〕

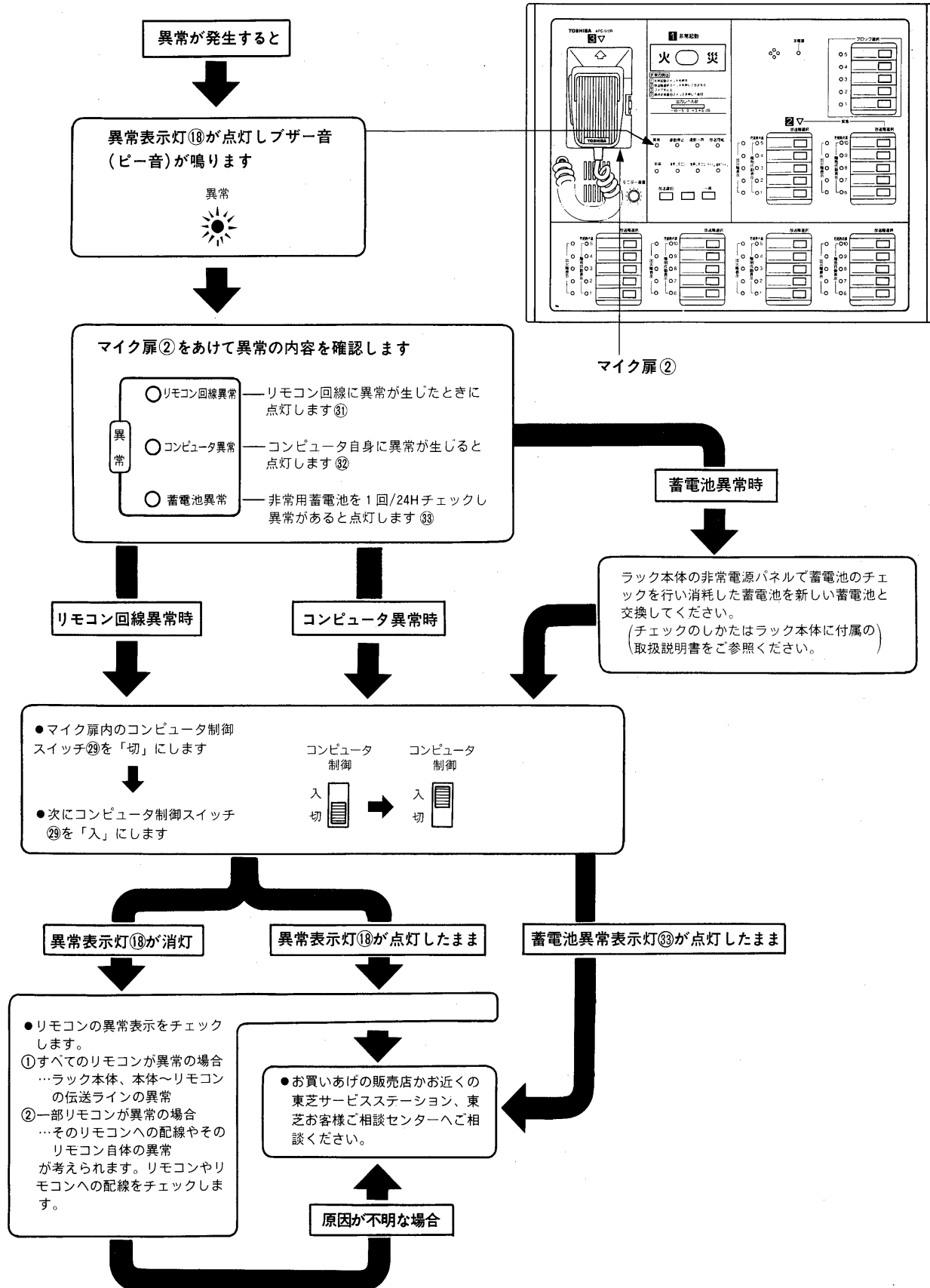
- ブロック放送をするとき.....ブロック選択スイッチ⑭を押します。
- ブロック放送を終了するとき.....選択したブロック選択スイッチ⑭(ブロック選択表示灯⑬の点灯しているスイッチ)を再度押すか、放送復旧スイッチ⑤を押します。
- 2以上のブロックに放送するとき.....放送したいブロックの選択スイッチ⑭を順に押します。
- ブロックの中で放送したくない場所があるとき.....放送したくない、不要な場所の階別選択スイッチ⑮を押します。
(作動表示灯⑯が消え、選択が解除されます。)
- 選択したブロックに放送したい場所を追加するとき.....放送したい階別選択スイッチ⑮を押します。
(作動表示灯⑯が点灯し、追加されます。)

ご注意

- ブロック選択は階別選択より優先します。このため階別選択中にブロック選択をすると階別選択は解除され、ブロックで指定された階の選択に切りかわります。

自動点検について

- 本機ではコンピュータ、非常・業務兼用リモコンの回線、蓄電池の点検が自動的に行われます。
- コンピュータ、リモコン回線、蓄電池に何らかの異常が発生しますと異常表示灯⑱が点灯し、ブザー（ピー音）が鳴ります。下記の順でチェックしてください。



TOSHIBA

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買いあげの販売店またはまたはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは機器の形名、ラック本体の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕 様

| | | ARC-1001R | ARC-2001R | ARC-3001R |
|--------|-------------|---|--------------------|---------------|
| 使用電源 | | DC24V(本体より受電) | | |
| 消費電流 | | DC380mA | DC475mA | DC580mA |
| 入 力 | | 非常・業務兼用マイク サイレン音 400～1000Hz 周期約5秒のくりかえし (非常用放送設備(委)統一音) ICチャイムユニット入力 外部入力 | | |
| | | -46dB 600Ω 不平衡 | -10dB 10kΩ 不平衡 | 0dB 10kΩ 不平衡 |
| 出 力 | | 0dB 600Ω 平衡 | | |
| 周波数特性 | | 非常・業務兼用マイク | 300～6000Hz ±3dB 以内 | |
| | | 上記以外 | 50～15000Hz ±3dB 以内 | |
| 信号対雑音比 | | 55dB以上 | | |
| ひずみ率 | | 1%以下 | | |
| 出力制御 | 放送階選択 | 10回線 | 20回線 | 30回線 |
| | ブロック選択 | 5回線 | | |
| | 一 斉 | 1回線 | | |
| 表示装置 | 階別作動 | 10回線(緑) | 20回線(緑) | 30回線(緑) |
| | 出火階表示 | 10回線(赤) | 20回線(赤) | 30回線(赤) |
| | 短絡表示 | 階別作動表示点滅方式 | | |
| | ブロック選択表示 | 5回線(緑) | | |
| | その他 | 異常表示、連動一斉表示、連動停止表示、放送可能表示、作動中表示×4 | | |
| モ ニ タ | | 1W/8Ω 音量調節器付 | | |
| 配 線 数 | | 10本(ツイストペア5対) | | |
| 塗 装 色 | | ケース……メインカラー(マンセル3.7YR7.7/0.1近似色) パネル……ブラウングレー(マンセル10YR4/1近似色) | | |
| 重 量 | | 約7.2kg | 約7.4kg | 約7.5kg |
| 付 属 品 | | 取扱説明書……………1 設置要領書……………1 東芝お客様ご相談センター一覧表……………1 | | |
| | 表示カード(5回線用) | 3(本体に取り付けて出荷) | 5(本体に取り付けて出荷) | 7(本体に取り付けて出荷) |
| そ の 他 | | -1. 5ポイントLED出力表示灯付き -2. 非常・業務兼用マイクはALC機能付き -3. 適合ICチャイムユニット(別売)……2音用(CH-2)、4音用(ACU-4020A) | | |